

アミノ化ヒアルロン酸ナトリウム（H2）の5-Carboxylfluorescein N-Succinimidyl Esterによる蛍光標識実施例

1. 留意事項

- 1) 標識剤としては、N-ヒドロキシスクシンイミド（NHS）エステルをお勧めします。
- 2) EDHAへの標識効率は低いので、同程度の量の標識剤を必要とします。
- 3) 標識剤や使用目的に応じて、適宜、条件を変更してください。
- 4) 本実施例は予告なく変更される場合があります。

2. 試薬・試液

- 1) アミノ化ヒアルロン酸ナトリウム（H2）（以下、EDHA-H2）
- 2) 5-Carboxylfluorescein N-Succinimidyl Ester（以下、CF-NHS）
- 3) 50mmol/L の四木ウ酸ナトリウム緩衝液（pH8.3）（以下、緩衝液）
- 4) 脱水済みジメチルスルホキシド（以下、DMSO）
- 5) エタノール（以下、EtOH）
- 6) 4mol/L の塩化ナトリウム水溶液（以下、4M_NaCl 液）
- 7) 生理食塩液
- 8) 1mol/L の水酸化ナトリウム水溶液（以下、1N_NaOH 液）
- 9) 3mol/L の酢酸水溶液（以下、3M_酢酸液）

3. 標識手順

3-1. 準備

- 1) EDHA-H2 の 1 バイアルに、3mL の緩衝液を加え、乾燥物を溶解する。EDHA-H 液とする。
- 2) 約 1mg の CF-NHS を秤取し、終濃度 20mg/mL になるように DMSO で溶解する。添加直前に調製する。CF-NHS 液とする。

3-2. 反応

- 1) 1mL の EDHA-H 液を 15mL 容の遠心チューブに採取後、50 μL の CF-NHS 液を添 加し、直ちに攪拌混合する。
- 2) 37°Cで 2 時間、放置する。

3-3. EtOH 沈殿（1回目）、洗浄

- 1) 40 μL の 4M_NaCl 液を加え、混合する（沈殿を確実に生成させるために、塩化ナトリウムを加えます）。
- 2) 4mL の EtOH を加え、5-Carboxylfluorescein 標識ヒアルロン酸（以下、CFHA）を沈殿させる。
- 3) 600×g で 10 分間、遠心分離し、上清を除去する。

- 4) 2mLのEtOHを加え、Vortex等を用いて激しく攪拌し、沈殿を洗浄する。
- 5) 必要に応じて遠心分離し、上清を除去する。
- 6) 同様の洗浄操作をもう一度、繰り返す。

3-4. アルカリ処理*、EtOH沈殿(2回目)、洗浄、乾燥

* アルカリ処理は結合した CF 以外の蛍光不純物を除くとともにナトリウム塩にするため
に実施します。

- 1) 1mLの生理食塩液を加え、Vortex等を用いて激しく攪拌し、沈殿を溶解する。溶解には時間が必要です。
- 2) 100μLの1N_NaOH液を加え、直ちに、Vortex等を用いて激しく攪拌後、1分間放置する。長時間、アルカリ状態にさらされると低分子化するので、1分間は厳守してください。
- 3) 300μLの1M_酢酸液を加え、攪拌、混合することにより中和する。
- 4) 4mLのEtOHを加え、CFHAを沈殿させる。
- 5) 600×gで10分間、遠心分離し、上清を除去する。
- 6) 2mLのEtOHを加え、Vortex等を用いて激しく攪拌し、沈殿を洗浄する。
- 7) 必要に応じて遠心分離し、上清を除去する。
- 8) 同様の洗浄操作をもう一度、繰り返す。
- 9) 通気性のある蓋をし、遮光して、真空デシケータ等を用いて、減圧、乾燥する。

4. 標識結果

* EDHA-H2、Lot. : 12C174、約1mgをCF標識した結果です。

	Result
Appearance	yellow-orange amorphous substance
Yield	67.8%
Mw measured by GPC	1365×10 ³
Degree of Substitution*	1.9%
Detection Limit on a Trans- Illuminator	≤50ng/spot (The image below)
Maximum Wavelength of Excitation	488nm
Maximum Wavelength of Emission	525nm

* 二糖単位に結合した CF 基のモル百分率。1%の場合、100 個の二糖単位（分子量約 40 × 10³）に 1 個の蛍光基が導入されている。



50ng/spot

100ng/spot

200ng/spot

400ng/spot